

セキュアなクラウド環境の実装と運用、
管理に必要なスキルを評価する認定資格

Cloud+

Prepare Your Workforce with Cloud+ Certification



CompTIA Cloud+認定資格を保有する社員を
登用することで、クラウドのメリットを
最大限に活用できるようになります

採用時のツール

CompTIA Cloud+認定資格を求人票の応募条件に記載することで、クラウドインフラストラクチャの実装、保守管理、および提供能力を持つ社員を確実に採用することができます。
採用担当マネージャの86%が、評価プロセス時にIT認定資格を重視すると述べています。¹

ロイヤリティの高い社員

認定資格を取得している社員の84%は、会社を辞めずに働き続けるため、スキルの高い従業員から長期に渡り恩恵を受けることができます。²

高いスキルを有する社員

Cloud+認定資格によって、クラウドモデル、仮想化、インフラストラクチャ、セキュリティ、リソース管理、および事業継続に関する社員のスキルが証明されます。

他社との差別化/競争力

クラウドテクノロジーの急速な進歩に伴い、ビジネスニーズも急速に高まっています。クラウドコンピューティングの本質を理解しているプロフェッショナルを採用することは、確実性が高く、管理の行き届いたクラウドプロジェクトを成功させる鍵となります。

グローバルな認知

Cloud+認定資格の取得は、国際的に認知されたベンダーニュートラルな資格保有者としての信用につながります。クラウドモデル、仮想化、インフラストラクチャ、セキュリティ、リソース管理、事業継続における自身のスキルを証明することができます。

他者との差別化/競争力

Cloud+認定資格により、理想の仕事を手に入れる可能性が広がります。採用担当マネージャの86%が評価プロセス時にIT認定資格を重視すると述べています。³

需要の高いスキル

クラウドを使用する組織は、ネットワークシステムをアップグレードし、増大する負荷に対応する必要があります。そのため、多くの会社ではエンタープライズネットワークの改善に適した優秀な人材を募集しています。

キャリアの向上

CompTIA Cloud+認定資格により、クラウドインフラの実装、保守管理、適切にサービスを提供するスキルがあることを、確実に証明することができます。

仕事に対する満足度

CompTIA認定資格を保有するITプロフェッショナルの76%が、自分の仕事に満足していると回答しています。⁴

“

“業界の業界による 業界のための資格”

CompTIA認定資格は、試験作成委員会が中心となり、ニーズ調査・職務分析・リサーチを経て、SME（サブジェクトマターエキスパート）と呼ばれる現場関係者により開発が進められます。

CompTIA Cloud+ SME

- 海外/一部抜粋
 - BAE Systems
 - Citrix
 - Department of Defense
 - Disney
 - Hitachi Data Systems
 - NetApp
 - VARS Technologies

■ 日本（50音順）

- 沖電気工業株式会社
- NTTコミュニケーションズ株式会社
- 株式会社クリエイトラボ
- 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 富士ゼロックス株式会社
- 富士ゼロックス首都圏株式会社



CompTIA Cloud+取得後は、次のようなキャリアで活躍できます

- クラウドエンジニア
- クラウドサービスのプロジェクトマネージャ
- データセンターのSAN管理者
- クラウドのビジネスアナリスト

CompTIA Cloud+認定資格は、クラウドコンピューティングの環境において、設計・構築、保守・運用を実施されるITエンジニアの方に必要なスキルと知識を証明するワールドワイドの認定資格です。

CompTIA Cloud+認定資格は、少なくとも24～36ヶ月のITネットワーク、ストレージ、データセンターなどでの業務経験を持つエンジニアを対象とし設計されており、受験の際には、サーバ仮想化技術への主なハイパーバイザー技術などに精通している事をおすすめします。

CompTIA Cloud+認定資格試験では、スキルを評価する多肢選択式の問題が出題されます。

主な出題範囲

CompTIA Cloud+認定資格試験では、一般的なクラウドの用語と方法論を理解し、クラウド環境の実装、保守・運用、およびクラウド技術とインフラ（サーバーやネットワーク、ストレージ、仮想化技術など）を提供するために必要とされるスキルと知識に関連する問題が出題されます。また、セキュリティを考慮し、クラウド環境や仮想化アプリケーションをIT業界のベストプラクティスとされている方法を用いて実装できるスキルについても問われます。

CompTIA Cloud+（試験番号：CV0-001）

第1章 クラウドのコンポーネントとモデル	12%
第2章 仮想化	19%
第3章 インフラストラクチャ	21%
第4章 リソースマネジメント	13%
第5章 セキュリティ	16%
第6章 システムマネジメント	11%
第7章 クラウドを活用した事業継続	8%

試験実施概要

試験番号	問題数	制限時間	合格ライン
CV0-001	100問	90分	100～900のスコア形式750以上

認定資格の詳細情報は、下記Webサイトをご覧ください:

http://www.comptia.jp/cont_certif_cloudplus_cv0-001.html

クラウドマーケットの拡大とスキルの重要性

◆ 現在クラウドサービスを活用しているチャネル企業、およびエンドユーザー企業の多くが、今後さらなる投資を行う予定であると回答している。エンドユーザー企業の約56%、チャネル企業の約70%が、現在より「10%以上」投資が増えると回答している。

◆ クラウドコンピューティングのコンセプトに対する理解は高まっている。一年前から比較し、現在の「理解度」に対する回答は、企業規模や業務内容にかかわらず上昇している。特に、スタッフ部門における理解度が、19%から58%に上昇している。多くの業務でクラウドが活用されていると同時に、収益との関連性への理解が高まっている。

(「CompTIA米国調査：2nd Trends in Cloud Computing」より抜粋)

◆ 調査に参加した日本企業の75%が、自社の社員が保有するITスキルと企業が求めているITスキルの間にギャップがあると回答。このスキルギャップに対して、日本企業の66%が、必要分野における社員のトレーニング/再トレーニングが有効であると回答。

(「CompTIA米国調査：CompTIA IT Skills Gaps Study」より抜粋)